

令和4年 10 月号

米沢市在宅医療 介護連携支援センターたより

2022.10.18 発行

センターからのお知らせ

- ◆令和4年 11 月から、当センターが、北外来棟(正面玄関・総合受付)の 2 階に移転します。電話、FAX 番号は変わりありません。
- ◆今月号は、「おしょうしなノート」の普及・啓発です。



米沢市マスコットキャラクター
直江兼統/かねたん
©aki okano

◆「おしょうしなノート」の普及・啓発 ※ 地域住民への出前講座

- テーマ「住み慣れた地域で、自分らしく暮らし続けるために、元気なうちから考えてみませんか “おしょうしなノート”を使ってみよう」
- 日時 令和4年9月26日(月) 午前10時～12時
- 場所 三沢コミュニティセンター
- 参加者 三沢コミュニティセンターの利用者等
- 感想等
 - ・もしもの時は、年齢に関係なくいつ起こってもおかしくない。
「おしょうしなノート」に書いておこうと思った。
 - ・寸劇(もしものときについて..)をみて、ノートに書いておこうと思った。
 - ・本当に寸劇のように、父親を看取った経験がある。特に財産のことについては、亡くなった後だと手続きが大変だった。ノートなどに整理しておいてもらおうと家族は助かると思う。



◆「おしょうしなノート」の普及・啓発 ※ 看護学生への研修会「内容:在宅医療・介護」

- 感想等(令和4年6月～7月抜粋)
 - ・エンディングというイメージだったが、「おしょうしなノート」は前向きに考える捉え方ができるので良いと思う。
 - ・「おしょうしなノート」は、死に焦点を当てるのではなく、生を意味している。みんなに伝えたいと思う。
 - ・祖母は亡くなって伝えられなかったが、家族には元気なうちに伝えたい。
 - ・もしもの時(医療について) 3回書ける。話し合った時のメンバーが書ける。キーパーソンが書ける所が良い。
 - ・家族みんなで考えるきっかけになる。受けたくない治療等みんなに伝えることが大切だと思う。
 - ・死に焦点をあわせるのではなく、生にあわせる。本人の望む治療をかなえられる。
 - ・ノートを通してして、考えを知るきっかけになる。息子も知らない情報(病名等)を知ることができる。入院したとき等必要と思う。
 - ・認知症になる前に書いていても、認知症になってからでは判断が違おうと思う。難しい。
 - ・ノートを渡すタイミングが難しいと思う。告知を受けた場合では渡せないと思う。